

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【公開番号】特開2014-131594(P2014-131594A)
 【公開日】平成26年7月17日(2014.7.17)
 【年通号数】公開・登録公報2014-038
 【出願番号】特願2013-230220(P2013-230220)
 【国際特許分類】

A 4 5 D 33/00 (2006.01)

A 4 5 D 44/00 (2006.01)

【F I】

A 4 5 D 33/00 6 5 0 Z

A 4 5 D 44/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成28年9月12日(2016.9.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 2】

固形粉末化粧料 1 5 について更に詳述すると、第 1 領域 1 5 a のすぐ外側には、第 1 領域 1 5 a よりも明度が高い領域である第 2 領域 1 5 b が位置している。また、第 1 領域 1 5 a のすぐ外側には、第 1 領域 1 5 a よりも明度が高い領域である第 4 領域 1 5 d も位置している。そして、第 2 領域 1 5 b に着目すると、第 2 領域 1 5 b のすぐ外側には、第 2 領域 1 5 b よりも明度が高い領域である第 3 領域 1 5 c が位置している。また、第 2 領域 1 5 b のすぐ外側には、第 2 領域 1 5 b よりも明度が高い領域である第 5 領域 1 5 e も位置している。更に、第 4 領域 1 5 d に着目すると、第 4 領域 1 5 d のすぐ外側には、第 4 領域 1 5 d よりも明度が高い領域である第 5 領域 1 5 e が位置している。したがって、固形粉末化粧料 1 5 の周縁域は、第 3 領域 1 5 c 及び第 5 領域 1 5 e から構成されている。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 8】

指通し部 1 6 b は、細長い帯状の形状をしている。指通し部 1 6 b においては、X 方向の両側部 1 6 c , 1 6 c は、パフ本体 1 6 a に固定されている。そして両側部 1 6 c , 1 6 c 間は、パフ本体 1 6 a から離間している。そして、パフ本体 1 6 a と指通し部 1 6 b との間に指を通すことで、パフ 1 6 を持つことができるようになっている。